

2023年度 公立大学法人大阪第11回役員会議事要旨

日時：2024年2月14日（水）9時30分～10時30分

場所：阿倍野キャンパス医学部学舎1階応接室

構成員：福島理事長、辰巳砂副理事長、酒井理事、東山理事、櫻木理事、高橋理事、
中村理事、帯野理事、宮部理事(オンライン)、藤沢理事(欠席)

陪席者：白井監事、前田監事(オンライン)、市橋事務局長、大久保事務局次長、石井事務局次長、
船野学長室室長、千田総務部長、柴山企画部長、富宅医学部・附属病院事務局長代理兼
事務局事務部長、中井総務課長

【審議事項】

なし

【報告事項】

1 大阪公立大学 vision2030 改訂について

担当理事および学長室次長より、大阪公立大学 vision2030 改訂について説明がなされた。

<主な意見等>

- ・東北大学の理念「研究第一」、「門戸開放」、「実学尊重」のように、四字熟語により基本理念を表現すれば学内外において浸透しやすいため、将来的に検討してはどうか。
- ・研究成果が社会にも役立ち、優秀な人材を輩出することが大学の成果として必須であるため、目標に「社会に役立つ人材を輩出する」を追記してはどうか。また、教員は研究も実施しながら学生の人材育成にも尽力いただきたい。
- ・研究および教育において優秀な人材を育て、社会貢献を行うことは大学として前提条件であるためあえて記載していない。
- ・学内外で浸透させるためには、文章だけではなく概要図等を作成してはどうか。

2 大阪公立大学の学長に求められる要件(案)について

担当理事より、学長に求められる要件について説明がなされた。

<主な意見等>

- ・コミュニケーション能力、学内マネジメント能力が重要であることから、他大学では学長に求められる資質として、「コミュニケーション能力」を強調して記載されている例が多く見受けられる。

3 副首都推進本部会議について

担当理事より、副首都推進本部会議について説明がなされた。

<主な意見等>

- ・一般の学生は原則春入学のみで、秋入学の対象者は留学生限定なのか。
- ・既に秋入学を導入している研究科では、留学生だけでなく一般の学生も対象としており、この制度を全学に広げる方向である。しかし、学部と研究科では状況が異なるので慎重に検討を進めたい。

- ・海外の留学生にとって秋入学はカリキュラムと合致しているが、日本では社会的な状況を踏まえると、卒業生の就職先等の受け入れ体制が整っていない。教育の国際化を進めていく中では、秋入学は研究科では必須だが、学部も入試制度の公平性等を配慮しつつ検討が必要である。

【備考】

オンライン会議システムを併用した役員会は、適時的確な意見表明が互いにできる状態であることを確認しており、終始異状なく議題の審議等を終了した。

以 上